

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	社会福祉法人川崎愛児園
-----	-------------

取組の名称	こども広場あいあい
実施場所	川崎愛児園地域交流スペース
対象地域	宮前区馬絹・小台地域および周辺の小学校区
対象地域の特色・課題	<p>川崎市内最多の児童が通う宮崎小学校を擁し、子育て家庭が非常に多く今後も増加が見込まれる地域である。その中には親の精神疾患、生活保護、ひとり親など養育が困難な状況の家庭も潜在的に存在している。新しい集合住宅も多く、地域とのかかわりが薄く子育ての悩みを抱え孤立してしまう親も存在する。家庭内の悩みを抱え込む親の元で子どもが行動や情緒が不安定になるケースも見られる。学童保育の利用も多いが、小学校併設のわくわくプラザの利用は高学年になると行かなくなりこどもたちだけで遊ぶことが増える。1年生の中にはわくわくの大勢の環境に馴染めない子もいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談ができるような地域コミュニティの関係構築 ・こどもたちが地域の中で日中困ったときに相談できる大人の存在の確保 <p>が課題としてあげられる。</p>
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の地域交流スペースを使用し、学習支援や余暇活動、食事や会話などを通じて、地域の中で子育てに困難を抱えている家庭、協力を得られない孤立した家庭、そしてこどもたちが、地域の人々とのつながりを持ち安心してすごせる場所を提供する。 ・多世代のボランティアが関わりながら、こどもたちの学びや体験機会の獲得に寄与する。
実施内容・実施ス	○対象児童 宮崎小学校ほか近隣地域の小学校に通う

<p>ケジュール</p>	<p>小1～小6の児童</p> <p>○実施日時</p> <p>取り組み①毎週木曜日 15:30～20:00</p> <p>取り組み②不定期 土日祝日 1回 1.5～2時間で都度調整</p> <p>○実施内容</p> <p><u>取り組み①について</u></p> <p>【1日の流れ】</p> <p>15:00～ 会場準備</p> <p>15:30～ 順次下校後の児童入室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習 スタッフ付き添いのもと宿題を可能な限りマンツーマン体制で行った。必要に応じてこども一人ひとりの習熟度・得手不得手・特性などに合わせた教材を提供。 ・余暇活動 <p><室内> (卓球、トランプなどカードゲーム、将棋・オセロなどボードゲーム、折り紙、お絵かき、工作、など)</p> <p><外出> (近隣地域の散策、公園でキャッチボール・サッカー・鬼ごっこなどの外遊び)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品の買い物や調理補助などの簡単なお手伝い体験 <p>※ひとり帰り児童の利用は18時まで</p> <p>18:00～ 夕食 ※こどもは無料。希望する保護者にも300円で提供</p> <p>食後、引き続き余暇活動。順次保護者のお迎えが来て帰宅。</p> <p>19:40～ 会場片付け開始 保護者迎えが難しく自宅まで送りが必要な児童はスタッフや民生委員らと共に出発。</p> <p>20:00 閉室</p> <p><u>取り組み②について</u></p> <p>1回につき1名のボランティアスタッフをピックアップして、その人の職業や社会活動にかかわるテーマで体験型イベントを行った。</p> <p>令和7年度実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み 海の生き物3D上映会 ・書初めカレンダーづくりワークショップ 		
<p>参加者の年代</p>	<p>① ②共に 6歳～12歳</p>	<p>定員 (1回あたり)</p>	<p>10名</p>

	(小学生)		
実施頻度	① 週 1 回 (毎週木曜) ② 土日祝日に 年数回	活動日数 (年間)	50 日
スタッフ体制	<u>取り組み①</u> 管理職員 1 名 ほか法人職員 1~2 名 (保育士等) 有償ボランティア 7 名 (生活学習スタッフ 4 名 / 調理スタッフ 3 名) ※地域ボランティア 登録 18 名 (令和 8 年 3 月現在) 月ごとのシフト制 <u>取り組み②</u> 管理職員 1 名 ボランティアは登録者の中から毎回 5~6 名希望者が参加。		
連携する団体・ 連携の手法	○宮崎小学校、他周辺の小学校 (児童の情報共有・保護者への広報) ○こどものいえもも保育園 (広報) ○宮前区社会福祉協議会 (広報・活動場所の確保) ○民生委員児童委員 (情報共有・保護者への広報・児童の帰宅時の付き添い)		
取組実施により 見込まれた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが多くの大人と触れ合う中で自分の気持ちを受け止めてもらうことができ安心につながった。 ・子どもたちが遊びや食事の場面で社会のルールやマナーについて大人から丁寧に教わる事ができた。 ・子どもたちが大人に学習をマンツーマンで見ってもらったり初めての遊びに挑戦させてもらったりして「わかった」「できた」という経験をすることで子どもたちの自信につながった。 ・子どもと保護者がスタッフらと顔見知りになり、日常生活のなかでも近所で顔を合わせて挨拶できる顔見知りの関係を築けている。 ・保護者が職員やボランティアスタッフらと顔を合わせ話すことを積み重ね、安心し、信頼関係を築く事ができている。 ・養育困難な家庭の子どもにも手作りでバランスの取れた 		

	<p>食事を提供でき空腹を満たすことができている。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ボランティア精神のある地域住民に活躍の場を提供できている
--	--